

事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：高規格救急自動車更新）整備事業						
補助事業者名	白老町長						
実施場所	白老町消防本部（白老町字石山20-24）						
補助事業の成果の目標	更新対象となる高規格救急自動車は、導入後10年以上が経過しており、走行距離も16万kmを超え、老朽化による修繕等により出動体制に支障を来している。 このため、車両の更新を行い、町民の安心・安全の確保及び救急救命活動の向上に資する環境を整備する。						
補助事業の内容	高規格救急自動車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和4年6月～令和5年3月						
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計
	事業費	円	円 23,045,000	円	円	円	円 23,045,000
	交付金額		23,000,000				23,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業後の救急出動について職員への聞き取りを行ったところ、これまでの車両よりも車両の操作性や安全性の向上が図られたことにより、より良い活動を行う事が可能となったとの評価を得られ、地域住民の安心安全な生活の維持及び救命活動の向上に資する環境が整備された。なお、特定防衛施設周辺整備交付金事業である事を車両本体への表記、町広報誌5月号及び町ホームページに掲載し、町民に周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民の安心安全を確保するため継続的に高規格救急自動車の更新を進める。						
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無						

事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：救急用資器材購入）整備事業						
補助事業者名	白老町長						
実施場所	白老町消防本部（白老町字石山20-24）						
補助事業の成果の目標	白老町消防本部では保有する3台の救急車のうち2台を運用し、1台を非常用救急車としている。運用する2台に自動心臓マッサージシステムは積載されているが、非常用救急車には積載されていない。しかし昨今、非常用救急車の出動するケースが増えていることから非常用救急車にも配備し、白老町の消防力、救急力の維持向上を図り、町民の安全に資する。						
補助事業の内容	自動心臓マッサージシステム 1台						
補助事業の始期及び終期	令和4年9月～令和5年3月						
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計
	事業費	円	円 3,076,128	円	円	円	円 3,076,128
	交付金額		2,214,000				2,214,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業後に職員への聞き取りを行ったところ、既に導入済みの資器材と同一のメーカーのため操作性には支障がなく、非常用救急車にも配備された事で胸骨圧迫の安定性が図られた事により、より良い活動を行う事が可能となったとの評価を得られ、消防力、救急力の維持向上及び地域住民の安心安全な生活の維持に資する環境が整備された。なお、特定防衛施設周辺整備交付金事業である事を資器材本体への表記、町広報誌5月号及び町ホームページに掲載し、町民に周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民の安心安全を確保するため継続的に救急用資器材の更新を進める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：救助用資機材購入）整備事業						
補助事業者名	白老町長						
実施場所	白老町消防本部（白老町字石山20-24）						
補助事業の成果の目標	白老町消防本部では、保有するマット型空気ジャッキの調整器及びコントローラーは昭和60年、マットは平成21年に購入し、エア漏れ等の著しい老朽化のため更新整備が急務である。また車両の横転事故等の不安定な事故車両から要救助者を救出する際、迅速かつ安全に救助活動を行うため、救助活動サポート器具を導入し、白老町の消防力の維持向上を図り、町民の安全に資する。						
補助事業の内容	マット型空気ジャッキ 一式 車両安定化支柱器具 一式						
補助事業の始期及び終期	令和5年1月～令和5年3月						
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計
	事業費	円	円 4,312,000	円	円	円	円 4,312,000
	交付金額		4,000,000				4,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業後に職員への聞き取りを行ったところ、これまでの資機材よりも操作性が向上し、事故車両の安全性も向上が図られる事からより良い活動を行う事が可能となったとの評価を得られ、消防力の維持向上及び地域住民の安心安全な生活の維持に資する環境が整備された。なお、特定防衛施設周辺整備交付金事業である事を資機材本体への表記、町広報誌5月号及び町ホームページに掲載し、町民に周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民の安心安全を確保するため継続的に救助用資機材の更新を進める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：消防団資器材購入）整備事業						
補助事業者名	白老町長						
実施場所	白老町消防本部（白老町字石山20-24）						
補助事業の成果の目標	地域防災力の中核となる消防団の安全確保及び大規模災害時の活動に対応するため、消防団装備品の充実強化を図り、住民の安全に資することを目的とする。						
補助事業の内容	全体：消防団防火衣一式、投光器、携帯型破壊工具ほか 本年度：消防団防火衣一式（防火衣、防火帽、防火長靴） 23セット						
補助事業の始期及び終期	全体：平成29年度～令和4年度 本年度：令和5年1月～令和5年3月						
事業費及び交付金額		令和3年度 まで	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計
	事業費	円 13,720,280	円 2,605,900	円	円	円	円 16,326,180
	交付金額	12,500,000	2,401,000				14,901,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業後に分団長への聞き取りを行ったところ、これまでの防火衣よりも安全性が向上し、消防団装備品の充実強化が図られたとの評価を得られ、地域住民の安心安全な生活の維持に資する環境が整備された。なお、特定防衛施設周辺整備交付金事業である事を資器材本体への表記、町広報誌5月号及び町ホームページに掲載し、町民に周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民の安心安全を確保するため継続的に消防団資器材の更新を進める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						